



カケハシ・プロジェクト（米国）

大学生招へい第3陣（Central Connecticut State University, University of Miami）の記録

1. プログラム概要

【目的】コネチカット州のセントラル・コネチカット州立大学、フロリダ州のマイアミ大学の大学生が来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などについて理解を深めるとともに、ネットワーク強化を図り、日本の魅力を積極的に対外発信してもらうことを主目的として実施しました。

【参加者】米国の大学生 14 名、学校関係者 3 名 計 17 名

（内訳）コネチカット州 セントラル・コネチカット州立大学 8 名（大学生 7 名、学校関係者 1 名）

フロリダ州 マイアミ大学 9 名（大学生 7 名、学校関係者 2 名）

【訪問地】グループ A（セントラル・コネチカット州立大学）：東京都、愛媛県

グループ B（マイアミ大学）：京都府、滋賀県、東京都

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

3 月 4 日（月曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、渡航上の注意、新型コロナウイルス感染症対策等

来日までの指定期間 【動画視聴】講義「日本と国連」、日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

3 月 8 日（金曜日） 羽田空港より入国

3 月 9 日（金曜日）～3 月 13 日（水曜日）

2 つのグループに分かれグループ A は東京都、愛媛県、グループ B は京都府、滋賀県を訪問。

グループ A（セントラル・コネチカット州立大学）：東京都、愛媛県

【視察】国会議事堂

東京都から愛媛県へ移動

【ホームビジット】松山市、今治市

【学校交流】愛媛大学

【視察】松山城、伊佐爾波神社、道後温泉街散策

【文化体験】座禅・写経（西龍寺）

【視察】木蠟資料館上芳我邸・内子町散策

愛媛県から東京都へ移動

グループ B（マイアミ大学）：京都府、滋賀県

【視察】清水寺、Artists' Fair Kyoto 2024（アドバイザーボード展覧会）
 【ホストファミリー対面式】
 【ホームステイ】日野町
 【ホストファミリー歓送会】
 【文化体験】友禅染め
 【視察】建仁寺
 【学校交流】京都精華大学
 【視察】京セラ美術館（村上隆特別展）、八坂神社、錦市場
 京都府から東京都へ移動

3月13日（水曜日） 【視察】明治神宮、原宿（日本のポップカルチャー）
 3月14日（木曜日） 【視察】東京国立博物館
 【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
 3月15日（金曜日） 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
 【視察】お台場（セントラル・コネチカット州立大学のみ）
 羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム

グループA（セントラル・コネチカット州立大学）

	
3月9日【視察】国会議事堂	3月10日【ホームビジット】
	
3月11日【学校交流】愛媛大学	3月11日【視察】松山城



3月12日【文化体験】座禅体験



3月12日【視察】内子町散策

グループB（マイアミ大学）



3月9日【視察】清水寺 Artists' Fair Kyoto 2024



3月10日【ホームステイ】



3月11日【文化体験】友禅染め



3月11日【視察】建仁寺



3月12日【学校交流】京都精華大学



3月12日【視察】八坂神社



3月13日【視察】明治神宮



3月15日【報告会】記念撮影

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

ホームビジットが最も印象に残っています。日本語のネイティブスピーカーと日本語で会話をしたのは良い練習になり貴重な経験になりました。日本語のネイティブスピーカーと自信を持って話せたのは今回が初めてで、とても楽しい時間を過ごすことができました。ホストファミリーの皆さんと一緒に日本料理を作る機会にも恵まれました。日本の伝統的な茶道も体験できてとても楽しかったですし、日本社会においてお茶が果たす文化的重要性を知ることができて興味深かったです。

◆ 大学生

ホームビジットでは日本人の日常生活を体験することができ、日本人の優しさをこの身で感じることができ、大変感銘を受けました。お寺への訪問も素晴らしい経験で、日本の伝統的な習慣や歴史全般について学ぶことができました。

◆ 大学生

プログラムで一番良かったのは間違いなくホームステイです。ホームステイで雛祭りや神道の習わしなど日本の風習について学べた事が一番良かったです。歴史ある日本の農家の日常生活を経験する事ができ、実体験を通じて日本の文化に接する事が出来ました。

◆ 大学生

日野町でのホームステイと京都精華大学での講義、交流を心から楽しみました。ホームステイでは日本の文化と慣習に溶け込むという素晴らしい経験をさせていただきました。京都精華大学の学校交流では、日本の大学や学生生活について知ることができ、特別講義ではマンガの表現など米国ではあまり知られていない芸術分野について学びました。

◆ 大学生

留学プログラム中で最も印象的だったのは、松山城でした。松山城はまさに息をのむ美しさです。この旅で、普段快適で安住している日常から踏み出すことができたと感じます。それはとても価値ある楽しい経験で、忘れられないものでした！

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 協力団体

海外の方に足を運んでいただく機会が少ない滋賀の田舎町ですが、芸術や美術に興味のある学生の興味関心を引くものがたくさんある事を再認識しました。また、言葉が通じない中でお互いの気持ちに寄り添ったコミュニケーションをたくさん取っていただき、「みんなで一緒に作って一緒に食卓を囲む温かさ、大事さを感じた」と学生が感想を述べてくれ、当方の受け入れの神髄を感じていただけて嬉しかったです。

◆ ホストファミリー

皆さん礼儀正しく、真面目でよく気が利く学生ばかりで大変好感が持てました。孫たちにとっても外国語教育、国際理解教育として大いに役立ったと大変喜ばしく感じております。

お好み焼きやおにぎり作りをして楽しみ、着物の着付けをした際は喜んでいただき、日本の文化紹介にも少し携われたことを嬉しく思います。これからもホームステイ・ホームビジットの受け入れをどんどん行っていきたいです。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

 From ホテルサンルート, Liam Bishop and I were lucky to have a room facing east. Japan's sunrises are beautiful! 	On Saturday, we woke up early to have a Japanese Style Western Food, with some Udon. It was very delicious, the Japanese style cooking techniques and ingredients really make a difference. Next, we went to the National Diet Building where the Japanese Minister works. We had a Tour around the inside of the building. Many places in Japan don't allow photos taken, so I only had photos when they said it was okay to take them. After, we went to Tokyo tower, the view is astonishing view, which is worth spending lots of time viewing. Great photos were taken of Mt. Fuji. Then, we had our 1hour 15 minute flight to Matsuyama airport in Ehime prefecture. There is a local mascot of an Orange (Fruit) Bear. There is a local type of Citrus that is unique to Matsuyama. Which is much more delicious than normal Oranges in America. Finally we went to our Hotel and Walked to our Dinner venue where we had some very delicious food. Sorry, I had not enough time to write in Japanese this time. Also, I'll be posting extra photos from this day soon Central Connecticut State University Kakehashi 2024 Joseph Lumpkin #kakehashi2024 #kakehashiproject
2024 年 3 月 10 日（Instagram） 松山市でホストファミリーの皆さんと一日を過ごしました！私とクラスメイトに素晴らしい体験をさせてくださってありがとうございました！ ホテルでは東向きのお部屋に泊まることができてラッキーでした。日本の日の出は美しいです！	2024 年 3 月 10 日（Instagram 等） 土曜日は早起きをして日本風にアレンジされた西洋料理とうどんを食べました。とても美味しく、日本の調理法と食材は料理に大きな違いを生むようです。 次に、国会議事堂を視察しました。ここでは写真撮影が禁止されている場所が多かったため、撮影が許可された時だけ写真を撮りました。続いて、東京タワーを視察しました。東京タワーから望む景色は素晴らしく、時間をかけて眺める価値があります。富士山の素晴らしい写真も撮れました。

	そして、愛媛県の松山空港へ到着しました。オレンジをモチーフにした地元のマスコットキャラクターがいました。松山市名産の柑橘類があり、アメリカの普通のオレンジより格段においしかったです。
	

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

グループ A（訪問地：東京都、愛媛県）、グループ B（訪問地：京都府、滋賀県、東京都）

全 2 グループが発表

グループ A

Findings and Learning: Host Families and Students

- Cultural Exchange Experience
- Spending a day with Japanese families
- Helped in their conversations with their parents and Japanese culture
- Attended opportunities to become citizens on weekends
- Shared with the direction and information on how to make society and Japan society
- Encouraged the education of high level communication and learning resources to language in which we live

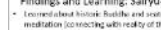
Findings and Learning: Sainryu-ji

- Learned about history, tradition and current meditation practices with study of the voice, chanting (shō)
- Experiencing music (sacred meditation) and sutra recitation, learning about authentic Japanese Buddhist practices
- Learning about the sacred image of Amida Buddha, sacred image, which was reported as a spiritual inspiration for the Great Bodhi King Kōshō
- Visit of temples Ma-tsu with special guest speaker with Chief Monk Iguchi

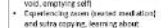
The Asian American Pacific Islander Spring Festival

- When: April 2024
- Where: CCSU Campus, New Britain, CT

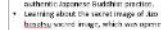


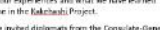


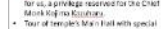


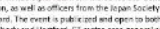





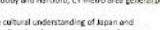



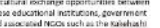











【訪目中の学び】

● 大学交流

同世代の学生との交流を通じて、大学生活や興味のあることについて共感し、地理的には離れていますが、とても身近な存在に感じました。

● ホームビジット

日本語と英語を交えて話すことに難しさを感じる場面もありましたが、異文化交流には忍耐力が必要だということを学びました。日本社会と米国社会の違いを体感することができ、より一層、日本に対する興味が湧きました。

● 西龍寺

15 分の坐禅と写経を体験しました。住職より仏教に関する話を聞き、仏教の修行を体験しました。また、数年に一度しか公開しない地蔵菩薩を拝見することができました。この視察を通して日本の奥深い宗教文化を学ぶことができました。

【アクション・プラン】

● 大学での発表

今年 4 月に開催されるアジア・太平洋諸島系米国人の春祭りのイベントの一環として、本プログラムで学んだことを大学で発表します。在ボストン日本国総領事館から外交官やグレーター・ハートフォード日本人会から役員を招き、当大学の学生や近郊の一般市民にも参加していただきます。この発表は日本文化に対する理解を深め、日米の教育機関、政府プログラム、カケハシ・プロジェクトや JICE などの関連機関との異文化交流の機会を促進することに繋がると思います。

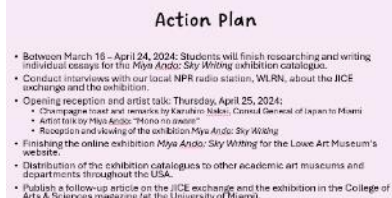
● 夏祭りの桜の植樹イベントへの参加

昨年同様、今年もグレーター・ハートフォード日本人会が主催する夏祭りに参加します。公園での桜の植樹を本プログラムの参加者全員が手伝う予定です。これにより当大学の日本語プログラムと異文化コミュニティとの連携がより一層深まると考えています。

● 学生新聞への寄稿

学生新聞 The Recorder にカケハシ・プログラムの体験記を書き、当大学の学生に留学を勧めたいと思います。外国の文化を直接体験することは、批判的思考や国際的視野を養う上で不可欠だと思うからです。

グループ B



【訪日中の学び】

日野町でのホームステイでは椎茸の菌打ち、お寺での鐘つきや自家製の野菜を使って料理を一緒につくる等、他では出来ない経験をし、分かち合う事の大切さを学びました。

東京国立博物館では刀等の歴史的な文化財、そして京セラ美術館では村上隆氏の現代アートを見ることができ、歴史の重要性を認識し、今後の研究に非常に参考になると思いました。

【アクション・プラン】

- ・マイアミ大学で開催予定のミヤ・アンドウ展のパンフレットに参加者のエッセイを寄稿します。パンフレットはアメリカ国内の美術館等に配布されます。
- ・地元のラジオ局のインタビューで本プログラムと展覧会について紹介します。
- ・大学内の教養学部の雑誌に本プログラムと展覧会についてのフォローアップ記事を掲載します。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）